# ふくしま みんなの SDGs

Sustainable Development Goals

2021 - 2022

2021年度 活動紹介BOOK

＼もくじ／


SDGsとは …… 1

ふくしまSDGsプロジェクトとは …… 2

2021年度の活動 …… 3

ふくしまSDGsプロジェクト推進(すいしん)コンソーシアム …… 4－11

プロジェクトパートナー …… 12－23

紙面連載(れんさい)「SDGs 福島から未来へ」 …… 24－29

プロジェクトパートナー一覧 …… 30



発　行：ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム

事務局：福島民報社広告局企画推進部　電話024-531-4161

# エスディージーズ SDGsとは

Sustainable Development Goals

**人類がこの地球で暮らし続けていくために、**
**2030年までに達成すべき目標です。**

SDGsは英語の「Sustainable Development Goals（サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ）」の頭文字を集めて略した言葉です。

日本語では「持続可能な開発目標」と訳されています。

最後の小文字の「ｓ」は、目標が一つだけではなく、複数あることを示しています。

「持続可能」とは、将来にわたって続けられるということ。「開発」には成長や発達という意味も含まれています。SDGsとは、すべての人々が良い環境で生活し続けられるようにするための道しるべと言えます。

SDGsは2015年の国連サミットで各国のリーダーが決定しました。

17の開発目標があり、さらにより具体的な169の目標があります。「誰一人取り残さない」を合言葉に、2030年までの達成を目指しています。

国際的な目標といっても、社会を動かすには一人一人の行動が欠かせません。SDGsに無縁な人はいません。小さな心掛けが大きな力になります。

**私たち一人一人の行動で世界が変わるはずです。**
**一緒に進んでいきましょう！**



# ふくしまSDGsプロジェクト とは

ふくしまSDGsプロジェクトは、福島県内の企業や団体、教育・行政機関などが連携し、2021年８月にスタートしました。活動母体の「ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム」は、子どもたちがSDGsを理解し、身近な課題を見つけて解決策を探る環境づくりを中心に取り組んでいます。

## SDGsを学ぼう

### ＼SDGsを学ぶ公開講座／

SDGsに取り組む団体・企業、国連関係者などによる公開講座を開催しています。
（オンラインセミナーも可）

### ＼出前授業／

学校向けに出前授業を開催しています。授業料は無料。協力団体・企業から講師を派遣し、実際に学校に出向き授業を行っています。

### ＼SDGs関連ニュースの紹介／

公式WEBサイト上に、福島民報に掲載した最新のSDGs関連記事をアップしています。

### ＼SDGsメールマガジン発行／（月１回配信中）

福島民報で紹介されたSDGs関連の記事をはじめ、プロジェクト主催のセミナー、出前授業、公式サイト最新コンテンツ情報などを登録者に配信しています。

## SDGsに取り組もう

### みんなのSDGs宣言募集とWEBサイト公開

SDGsの活動を学校教育に活用してもらうプログラムです。総合的な学習・身近な活動を通して児童・生徒に「持続可能な世界を築くにはどのようなことを行えばよいのか」を考える機会になります。

### 「SDGsポスター」「SDGs未来新聞」募集とWEBサイト公開

「未来をよくするために私たちにできること」をテーマに児童・生徒から作品を募り、公式WEBサイトで全作品を公開しています。

### 「私たちが目指す世界 子どものための『持続可能な開発目標（SDGs）』」公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの連携

17の目標についてイラストを使ってわかりやすく解説しています。サイトからダウンロードし、学校の授業や企業などで活用していただけます。

### 県内のさまざまなSDGs活動紹介

４月に小冊子を発行し、県内の全小中学校、高校、大学に配布します。公式WEBサイトにもPDF版をアップします。学校や団体のSDGsの取り組みを紹介しています。

プロジェクトの詳細は公式WEBサイトへ

ふくしまSDGs　https://sdgs.fukushima.jp

# 2021年度の活動 ―2021.8～2022.2―

## SDGs公開講座・出前講座

青年会議所（JC）、福島県ユニセフ協会、福島民報社などコンソーシアムメンバーによる出前講座を行いました。

## みんなのSDGs宣言・作品募集

みんなのSDGs宣言　514点
SDGsポスター　210点
SDGs未来新聞　37点
学習用SDGs宣言　12点

## ふくしまSDGs大賞

JC東北地区福島ブロック協議会主催の事業と連携し、SDGsを福島県内で推進している団体、個人を表彰しました。大賞は、いわき市の県立いわき支援学校。廃棄されるふすま紙でバッグを作る取り組みが評価されました。

## 大型記事連載を掲載「SDGs 福島から未来へ」

月に２～３回、福島民報の紙面にSDGsに取り組む企業・団体を紹介しています。

## SDGs一般記事を掲載

SDGsのカットを付けた記事を掲載しています。

## SDGs週間に合わせたPRブースを出展

郡山市日和田のショッピングモールフェスタで９月25・26日の両日、ふくしまSDGsプロジェクトをPRするブースを出展しました。

## メールマガジンの発行・配信

毎月下旬に配信中です。

## SDGs紙面特集の発行・掲載

毎月１回、プロジェクトPR広告・紙面を掲載しています。

## 企業・団体のSDGsの取り組みを紹介するA４サイズの小冊子「ふくしま、みんなのSDGs」

４月に発行し、県内の全小中学校、高校、大学に配布しています。

# ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム

## 公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会

福島市大町２－５ ｜ TEL 024-528-1145 ｜ https://www.jaycee.or.jp/2022/tohoku/fukushima/

### 青年会議所はSDGsを日本一推進する団体として運動・活動を展開しています

**これまでの活動**

2020年は県内企業とSDGs推進宣言を行いました。2021年は積極的にSDGsに取り組んでいる団体や個人の方を表彰することで、さらにSDGsの認知度が高まると考え、「青年会議所が選ぶ！ふくしまSDGs大賞」を開催しました。また、青年会議所会員が県内の小学校や児童クラブを訪問し、SDGsの出前授業を行いました。座学だけではなく、クイズやゲームなどを通して子どもたちにSDGsについて楽しく学んでもらいました。

**これからの展望**

昨年までの活動でSDGsを周知することができたと感じています。

今後は17の目標の中で県内ではどこが弱いのかを調査し、2030年までにすべてのゴールを達成できるよう取り組んでいきたいです。

小学校を訪問した出前授業

ふくしまSDGs大賞を開催

## 福島県商工会議所連合会

福島市三河南町１-20 コラッセふくしま８階 ｜ TEL 024-536-5511 ｜ https://www.fukushima-cci.or.jp

### 新型コロナウイルス対策関係への経営支援強化

**これまでの活動**

- 中小企業の新型コロナウイルス対策関係への伴走型による経営支援事業強化
- 感染症対策を含めた新たな災害リスクに対応するための「事業継続計画」の策定支援の推進
- デジタル活用（DX、ICT活用への対応等）による中小企業の体質支援強化
- 高等学校等との連携強化による若者の地元企業への就職促進
- 各地の魅力、強みを活かした交流・関係人口の拡大の推進

**これからの展望**

- 会員事業所がSDGsに取り組むための事例紹介などによる啓発活動の推進
- マイクロプラスチック及びカーボンニュートラル（脱炭素）や、再生可能エネルギーとして有用な水素エネルギー等の、地球温暖化対策に関する調査・研究の推進

中小企業への経営支援強化

企業説明会

## 福島県商工会連合会

福島市三河南町１-20 コラッセふくしま９階 ｜ TEL 024-525-3411 ｜ https://f.do-fukushima.or.jp

### 中小企業・小規模事業者のSDGsへの理解促進と女性部の資源再利用活動

**これまでの活動**

若手後継者等を対象にSDGsをテーマとしたパネルディスカッションを開催して普及・啓発に取り組みました。また、福島県商工会女性部連合会では、資源を再利用する取り組みの一つとして、使用済みポスターやカレンダーをショッピングバッグに再生する試みを始めました。厚手の紙や防水加工された紙が使われていることも多く、オリジナルで丈夫なエコバッグを作ることができ、大変好評です。

**エコバックの作り方動画リンク https://youtu.be/4J9duCKuwQg**

SDGsをテーマにしたパネルディスカッション

使用済みのポスターでエコバッグ作り

**これからの展望**

地方の小規模・中小企業における認知度は低いのが実情であるため、県内会員事業所に向け、SDGsの取り組みの重要性について周知強化を図ることでSDGsを活用した事業環境づくりに寄与していきたい。

## 国立大学法人 福島大学

福島市金谷川１番地 ｜ TEL 024-548-8012 ｜ http://www.fukushima-u.ac.jp

### 食料の安定確保と持続可能な農業の推進や森林の持続可能な管理や生物多様性損失の阻止、廃棄物・ゴミの３R（減量・再利用・リサイクル）を促す社会の仕組みづくりに努めたい

**これまでの活動**

本学では、エネルギー自給率向上と温暖化対策のためバイオマス発電等の再生可能エネルギーの導入拡大、さらには、食料の安定確保や森林の持続可能性を追求し、農作物の栽培や森林・水環境等の保全に関する研究開発や人材育成に取り組んでいます。また、持続可能な消費と生産を確保するため廃棄物・ゴミの３Rを促す社会づくりに取り組むとともに、水と衛生の利用可能性を追求しトイレの便器洗浄水にリサイクル水を活用するなどもしています。最近では平和で包摂的な社会を促進するため、更生保護施設などへの訪問や広報啓発などを行う学生ボランティア団体「福島大学BBS会」が発足しました。

さまざまな課題に取り組む福島大学

福大中央広場

**これからの展望**

地域と共に歩む大学として、グローバルな視点も生かしつつ複雑かつ高度化する地域課題に果敢に向き合い、研究開発、人材育成、研究成果の社会実装を通して「SDGs」の理念である持続可能な社会の実現に貢献したい。

## 福島県ユニセフ協会

福島市仲間町４番８号 ラコパふくしま４F ｜ TEL 024-522-5566 ｜ http://unicef-fukushima.gr.jp

### 世界の子どもたちの現状を知るとともに、SDGsについて考え、自分たちのできることに取り組もうとする態度を育成すること

**これまでの活動**

福島市立吾妻中学校３学年の生徒76名、福島市立第三中学校３学年の生徒100名を対象に「SDGs」の出前授業を行いました。吾妻中学校では、学び、調べ、学習したことを文化祭で発表しました。須賀川市立小塩江中学校では、SDGsや道徳の時間に児童労働の学習をしたのをきっかけに、ユニセフ募金に取り組み、募金を贈呈していただきました。また夏休みの課題で取り組んだSDGsの学びを新聞にしました。

吾妻中学校

第三中学校

**これからの展望**

出前授業を記事にしていただいたお蔭で、県内各小中学校や教育委員会などからの問い合わせがきております。子どもに限らず大人向けの出前授業の準備も進めました。出前授業の講師養成の取り組みも今後進めます。

## JAグループ福島

福島市飯坂町平野字三枚長１-１ ｜ TEL 024-554-3037（JA福島中央会組織広報部） ｜ https://www.ja-fc.or.jp

### 地元でとれたものを地元で食べたり飾ったりする「地産地消」の大切さを地域に伝えていくこと

**これまでの活動**

毎日の食事はみなさんの体を作る大切なもの。新鮮で安全なのがなによりも安心です。

JAでは、食料や農業の大切さや「地産地消」の重要性について理解してもらうため親子で参加できる、「料理教室」や「収穫体験・試食会」など「食農教育」に取り組んでいます。

また、地元の花にふれ心の豊かさを育てる「花育」の授業にも取り組んでいます。

JA夢みなみ石川地区 親子ふれあいの集い『収穫体験』「美味しそうだね！早く食べたいな！」

JAふくしま未来 『花育』の授業「きれいだね！お花にも人間と同じ命があるんだね！」

**これからの展望**

遠くで作られた食べ物をみなさんのところまで持ってくるには、自動車や船、飛行機などで運ばなければなりません。これにはたくさんの燃料を使うので、地球にとってよくないのです。

JAの直売所には地元の農家さんが心を込めてつくった「安全・安心で新鮮なもの」を取りそろえておりますのでぜひお出かけください。

# 福島県

福島市杉妻町２-16 ｜ TEL 024-521-7109 ｜ https://www.pref.fukushima.lg.jp

## 福島県は、新しい総合計画が令和4年度からスタートすることを機に、取り組みの方向性が一致するSDGsを活用し、あらゆる主体相互の連携・協働を進めながら、福島の未来づくりや誇りづくりの推進に取り組んでいきます

**福島県総合計画とは**

行政運営上の最上位計画（指針）であるとともに、住民全体で共有する自治体の将来目標や施策を示し、全ての住民や事業者、自治体が行動するための基本的な指針です。計画期間は令和４年４月から令和13年３月までの９年間であり、SDGsと同じ2030年を終期としています。

**総合計画における SDGsの視点でのふくしまの将来の姿**
※福島県総合計画抜粋

**1　貧困をなくそう**
- 誰もが、医療、教育などの基礎的なサービスを享受できる環境が整っている など

**2　飢餓をゼロに**
- 産地の生産力が向上し、生活に不可欠な食料を安定的に供給している など

**3　すべての人に健康と福祉を**
- 若い世代から高齢者まで県民一人一人が心身ともに健康な生活を送っている など

**4　質の高い教育をみんなに**
- 震災の記憶の継承や復興への取り組みを基に、郷土への理解が進んでいる など

**5　ジェンダー平等を実現しよう**
- あらゆる分野で女性の意思決定過程への参画が進み、女性活躍の場が広がっている など

**6　安全な水とトイレを世界中に**
- 猪苗代湖を始めとする水環境が保全されている など

**7　エネルギーをみんなにそしてクリーンに**
- 水素エネルギーの社会実証が進み、国内外の最先端モデルとなっている など

**8　働きがいも経済成長も**
- 農林漁業者が他産業並の所得を安定的に確保している など

**9　産業と技術革新の基盤をつくろう**
- 県産品・観光の魅力や正確な情報の発信により産地評価の回復、競争力の強化が進んでいる など

**10　人や国の不平等をなくそう**
- 年齢、性別、国籍、文化など様々な背景を持つ人々が互いに尊重し、自分らしく暮らしている など

**11　住み続けられるまちづくりを**
- 避難解除等区域における生活環境等の整備や居住人口の増加が進んでいる など

**12　つくる責任　つかう責任**
- ごみの減量化やリサイクルなど環境に配慮したライフスタイルが定着している など

**13　気候変動に具体的な対策を**
- 地球温暖化対策に県民一人一人が積極的に取り組んでいる など

**14　海の豊かさを守ろう**
- 水産資源を安定的に利用できる仕組みが確立され、活力ある水産業が営まれている など

**15　陸の豊かさも守ろう**
- 豊かな自然環境が保全されている など

**16　平和と公正をすべての人に**
- 安全・安心で、差別や虐待のない人権に配慮した社会づくりが進んでいる など

**17　パートナーシップで目標を達成しよう**
- 市町村とともに、効率的・効果的な行政サービスが行われている など

SDGs推進に当たっては、自治体や企業、団体・NPO、教育・研究機関など多様な主体により、幅広い分野や地域で、様々な取り組みが活発に展開されることが期待されます。2022年２月17日(木)には、力を合わせて県づくりを進めていくための機運醸成や共感につなげる目的で「ふくしまSDGs推進フォーラム」を開催しました。

引き続きSDGsを入口とした連携・協働を進めるための取り組みを進めてまいります。

# 福島民報社

福島市太田町13-17 ｜ TEL 024-531-4111 ｜ https://www.minpo.jp

## 復興に向かう福島からSDGsの輪を広げ子どもたちと一緒に持続可能な社会を築きます

**これまでの活動**

①人が輝く福島②活力ある豊かな福島③健やかで生きがいに満ちた福島④助け合い共に歩む福島を基本ビジョンとする「福島民報社SDGs宣言」を掲げ、SDGs17目標への理解を促す紙面企画、県民参加の環境美化活動、SDGs出前講座などに取り組んでいます。福島県内の団体、大学、企業、行政機関に呼び掛けて「ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム」を立ち上げ、主に子どもたちを対象にしたイベント、講座、コンクールなども進めています。

**これからの展望**

東日本大震災・東京電力福島第一原発事故を経験した福島の歩みをSDGs実現の推進力として、誰一人取り残さず、誰もが安心して暮らせる社会づくりを子どもたちと一緒に進めていきます。

SDGsの取り組みを紹介した会場

県民参加の環境美化活動

# 公立大学法人 会津大学

会津若松市一箕町鶴賀 ｜ TEL 0242-37-2510 ｜ https://www.u-aizu.ac.jp

## AI、IoT、ブロックチェーン、メタバース等の先進的なICTテクノロジーは、さまざまな領域において持続可能な社会の構築に貢献できます

**これまでの活動**

会津大学では、2022年４月１日に学長がSDGs宣言を行いました。現在SDGsを念頭に置いたさまざまな研究や取り組みを進めていて、質の高い教育、産業と技術革新はもとより、エネルギー分野では、企業と連携して実証実験を進めている完全オフグリッド型のソーラーカーポート、健康と福祉分野ではAIによる大腸ポリープの検出、他にも気候変動、住み続けられるまちづくり等、幅広い分野でのSDGs目標の実現に寄与する研究等に取り組んでいます。

**これからの展望**

AI、IoT、ブロックチェーン、メタバース等の先進的なICTテクノロジーは、さまざまな領域において持続可能な社会の構築に貢献できることから、これまで以上に異業種との連携を深め、SDGsの多くの目標の実現に取り組みたいと考えています。

学校写真

ソーラーカーポート

## 公立大学法人 福島県立医科大学

福島市光が丘１ ｜ TEL 024-547-1111 ｜ https://www.fmu.ac.jp

### 「すべての人に健康と福祉を」県民の「健康」の維持・増進に取り組んでいます

**これまでの活動**

- 保健、医療、福祉等の分野で活躍する医師、看護師、医療技術者を育成し、高度な医療機器・技術を用いた診療の提供により県民の健康維持・増進に貢献しています。
- 郡山市と締結した「SDGsの推進に関する包括連携協定」に基づき、健康寿命の延伸と健康格差の縮小につながる共同研究に取り組み中です。

**これからの展望**

高度な医療機器・技術を用いた診療の提供、コミュニティにおける高齢化率の上昇や慢性疾患の増加などに対応する専門医療技術者の取り組みなど、地域医療への「持続可能な」取り組みを通して、本学ならではの役割を担ってまいります。

郡山市と『SDGsの推進に関する包括連携協定』を締結

県民の保健・医療・福祉に貢献する医療人の教育、育成を目指す

## 桜の聖母短期大学

福島市花園町３−６ ｜ TEL 024-534-7137 ｜ https://www.sakuranoseibo.jp

### 「私が」やれることを探し、実践へ促す教育 そして「私たちへ」巻き込む教育

**これまでの活動**

本学では、SDGsに関しては主として「福島学」という科目で学び、実践へ促す教育を展開しています。

福島学では誰かがやってくれるという他力本願では、“福幸”は創出できない。まず、福島の課題を学び、「私がやれること」を探し出し、実践できる力を身に着け、そこから周囲を巻き込む力を養成することを目標としています。これはSDGsでも重要な力と捉え、“地球規模の課題を福島から考えよう”をテーマに、自らの議論・実践を踏まえたメッセージを動画に残すという取り組みをしています。

**これからの展望**

まずは学内あちこちがSDGsに関するメッセージで満杯になれることが大きなビジョンです。

すなわち「福島学」を履修していない学生たち、教職員が、「福島学」を学び実践している学生たちのメッセージを受け取って、何かしらの“変化”を作れるような、そのような広がりを設計するつもりです。

実践へ促す教育を展開している「福島学」

「地球規模の課題を福島から考えよう」をテーマに話し合う学生

## 福島学院大学・福島学院大学短期大学部

福島市宮代乳児池１−１ ｜ TEL 024-553-3221 ｜ http://www.fukushima-college.ac.jp

### こどもたちが楽しくSDGsを学べる「SDGsかるた」を作成しました

**これまでの活動**

情報ビジネス学科の学生による有志団体「Green Green」が、楽しみながらSDGsについて学べる「かるた」を作成しました。絵札には17の達成目標に結びつく行動のイラスト、読み札には難しい漢字を避けた文章と関連する達成目標のアイコンがプリントされており、子どもたちにも分かりやすいように工夫されています。

完成したかるたは、福島市こむこむ館のイベントで配布したほか、市内小学校に寄贈しました。

**これからの展望**

学生たちの活動がきっかけで、学内に教職員によるSDGs委員会が組織されました。

地域に根ざした高等教育機関として、どのような形でSDGsに取り組むことができるかを協議しています。

情報ビジネス学科の学生の有志でつくる「Green Green」

楽しみながらSDGsについて学べる「かるた」作成

## 日本大学工学部

郡山市田村町徳定字中河原１番地 ｜ TEL 024-956-8618 ｜ https://www.ce.nihon-u.ac.jp

### 健康で持続可能な社会実現のため、学生が「LohasProLab」を立ち上げ研究を続けている

**これまでの活動**

日本大学工学部は、健康で持続可能な社会を実現するため「ロハス工学」を提唱。学生の視点から生まれる、ものづくりのアイデアなどを社会につなげていこうとさまざまな取り組みがされています。「LohasProLab」は、大学院生を含む12人のメンバーが活動。第２回創生アイデアコンテストにおいて、レーダー（LiDAR）で周囲の距離と位置情報を取得し、視覚障がい者が壁などにぶつからないよう骨伝導イヤホンを通じて知らせる「視覚障がい者のためのエコーロケーション装置」を考案し最優秀賞を受賞しました。

**これからの展望**

学生の主体性や若い発想力を大切にし、また大いに期待し、アイデアをスムーズに具現化できるものづくりの環境を整えています。今後も、教育と研究の好循環を通して、人々の笑顔を大切にする新たなロハス工学を発信してきたいと思います。

「ロハス工学」を提唱する日本大学工学部

ロハス工学を学生の視点から話し合うLohasProLabの活動

## 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部

郡山市開成３-25-２ ｜ TEL 024-932-4848 ｜ https://www.koriyama-kgc.ac.jp

### 教育研究活動を通し、人類の福祉及び地球環境保全に貢献できる人材を育成する

**これまでの活動**

大学生・附属高校生・教職員が郡山市内の福島ふれあいの森や石筵開成の杜での森林保全活動に参加し、定期的に裾枝払いや環境調査、生態系の保存などを行っています。栄養系の学生が校舎の屋上菜園で野菜を栽培し、調理実習や学食の食材に利用。生産者の苦労を知ると共に、食品ロスのない生活を心掛けています。大学、短大の各学科が自治体や企業・団体と連携し、伝統文化や福祉、子育て、産業創出の課題に学びの成果を活かす地域貢献活動に取り組んでいます。

**これからの展望**

森林保全活動や地域貢献活動などを継続して環境マインドを持つ学生・生徒らを育て、全学的に省エネルギー、省資源、廃棄物の抑制と再資源化に取り組み、SDGs（持続的に発展可能な循環型社会）の構築に寄与します。

森林保全活動

地域貢献復興の灯火プロジェクト

## 福島県生活協同組合連合会

福島市仲間町４番８号 ラコパふくしま４F ｜ TEL 024-522-5334 ｜ http://fukushima.kenren-coop.jp

### 誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、助け合いの組織である協同組合の理念と重なっており、SDGs行動宣言としてまとめました

**これまでの活動**

①持続可能な生産と消費のために商品とくらしのあり方を見直していきます②地球温暖化対策を推進し再生可能なエネルギーを利用・普及します③健康づくりの取り組みを広げ福祉事業・助け合い活動を進めます④世界から飢餓や貧困をなくし子どもたちを支援する活動を推進します⑤誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します⑥ジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します⑦核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

**これからの展望**

「生協の2030環境・サステナビリティ政策」のスローガンは「すべての人々が人間らしく生きられる　豊かな地球を、未来のこどもたちへ」です。次世代に豊かな地球を残していきたいという強い願いを込めました。

生協の2030環境・サステナビリティ政策

## 株式会社 アサカ理研

郡山市田村町金屋字マセロ47番地 ｜ TEL 024-944-4744 ｜ https://www.asaka.co.jp

### 都市鉱山から有価金属などの回収に取り組むSDGs企業

最主力事業である「貴金属事業」

**これまでの活動**

アサカ理研は1969年の創業以来、「有限な鉱物資源を有効活用することで、資源と共存する」という課題と真摯に向き合い事業を続けてきました。最主力事業である「貴金属事業」では、有価金属が付着するスクラップや装置類から有価金属を回収・再生しています。再生した有価金属は商社へ販売、またはメーカーに返却しています。市場やメーカーへ資源を戻すことにより、「資源循環」に貢献するものです。次に「環境事業」ではプリント基板の製造工程で発生する廃液を新液として再生し、加えて副産物である銅の回収・販売を行っています。廃液を廃棄処分とせず、余すことなく有効活用していることから、この事業も資源循環に貢献しています。アサカ理研は約50年前から資源再生を通して循環型社会の実現に貢献しています。

新規事業の「LiB再生事業」

**これからの展望**

新規事業として「LiB再生事業」を展開しています。使用済み車載用リチウムイオン電池（LiB）から、レアメタルを回収し、LiB原料への再生を行う事業です。脱炭素化に向けた次世代車の普及に対応すべく、LiB市場も急速に拡大していますが、LiBをはじめ、最先端デバイスなどの材料として幅広く使用されるレアメタルの調達や鉱山開発には、環境負荷などの課題があります。LiB再生事業ではグリーンエネルギーの普及を促し、二酸化炭素排出量抑制に貢献するとともに、希少金属であるレアメタルの資源循環の確立により環境負荷の低減を目指していきます。

# 荒川産業 株式会社

喜多方市屋敷免3960 | TEL 0241-21-1511 | https://amarc.co.jp

## 「地域資源を発掘」し、「地域課題を解決」する「ふるさと循環型リサイクル企業」

**これまでの活動**

特徴的な取り組みが３つあります。

１つ目は「リサイクルBOX」です。『24時間いつでも』『誰でも』『好きな時』に不要になった、金属製品や缶類、段ボール、新聞、雑誌などの「資源ごみ」を回収するしくみです。当社の資源リサイクル工場「アマルク」に近接して設置しており、ここに集まった資源ごみ収益金の一部を基金化しております。公平性を保つため外部委託している協議会にて寄付する団体様や個人を決めていただき寄付、還元をしております。

資源ごみを回収する「リサイクルBox」

２つ目は「リサイクルミュージアムくるりんこ」です。本社３階に1992年に開設、さまざまな資源リサイクルがどのように行われているかを説明した展示室です。現在1万5000人を超える方に見学いただいており、環境意識に目を向けるお手伝いが出来ていると自負しております。

リサイクルミュージアムくるりんこ

３つ目は「環境×福祉」の連携事業の推進です。東日本大震災後に障がい者福祉事業所「ステップボード」を開設し、障がい者の方が就労する機会を提供しております。2021年12月にはグループホームも開設して地域内で自律した生活を送れる仕組みづくりができつつあります。

**これからの展望**

荒川産業ではSDGsに取り組んでおりますが、１社でできることには限りがあります。

ですが、幸いにも弊社はグループ法人を含めると合計11法人の企業体となります。

グループ全体で17の持続可能な目標を設定して行動して参ります。

もちろん、我々だけでは持続可能な社会は作れませんので地域内の企業様、自治体様に様々な提案をして2030年に福島県を「地域資源循環モデル地区」として世界に発信できるようにチャレンジしてまいります。

# 株式会社 東邦銀行

福島市大町３番25号 | TEL 024-523-3131(代表) | https://www.tohobank.co.jp

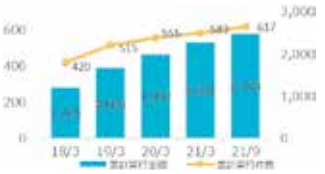
## 環境分野サステナブルファイナンスを通した気候変動対応とお客さまのSDGsの取り組みをサポート

**これまでの活動**

近年の脱炭素社会に向けた世界的潮流や気候変動による環境への影響等、環境分野への取り組みは益々重要性を増しています。特に、東日本大震災と原子力発電所事故を経験した福島県は、再生可能エネルギーを核とした産業の育成、集積に積極的に取り組んでいることから、当行は2021年10月、環境分野サステナブルファイナンス目標１兆円を設定し環境保全への取り組みを強化しています。

また、SDGsは、世界中の国や企業が2030年の持続可能な社会の実現に向け主体的に取り組んでいく必要があります。特に、企業がSDGsに取り組む事は、地域課題の解決を通したビジネスチャンスの獲得や企業イメージの向上に繋がることから、当行は、2021年12月より「とうほうSDGsサポートサービス」の取り扱いを開始し、お客さまのSDGsの取り組みを積極的に支援しています。

再生可能エネルギー関連融資
(実行額・件数)



とうほうSDGs
サポートサービス

**これからの展望**

福島県が持続可能な社会を実現するためには、県内ステークホルダーの共通理解と達成に向けた行動が必要ですが、現状、SDGsへの理解は十分とは言えない状況にあります。当行は、「とうほうSDGsサポートサービス」を通して、お客さまのSDGsへの取り組みの見える化と取り組むべき課題の洗い出しにより、持続可能な地域社会やビジネスモデルの構築をサポートしていきます。また、環境分野サステナブルファイナンスの一層の推進強化により、福島県の再生可能エネルギーを核とした産業の育成、集積を後押しし、地元“ふくしま”の持続的発展に貢献していきます。

# 日本たばこ産業株式会社福島支社

郡山市方八町２−１−12 ｜ TEL 024-911-7120

## 地域の社会課題と向き合い、持続可能な地域社会の発展のため美化活動や復興支援などさまざまな活動に取り組みます

フードロス削減を目指したフードポスト

持続可能な地域社会の発展のため
取り組んでいる美化活動

**これまでの活動**　JTグループは、責任ある地域コミュニティの一員として、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、「格差是正」「災害分野」「環境保全」３つの領域を重点領域と位置づけ、さまざまな地域社会への貢献活動に取り組んでいます。

上記重点領域と関連するSDGsへの貢献を通じて、包摂的かつ持続可能な地域社会の発展の実現に向けた活動を行っています。

例えば、地域の皆様と共にフードロス削減を目指して、フードバンク団体と連携しJT福島支社の事務所内にフードポストを設置しています。ご家庭などに眠っている食品などがありましたら是非お持ちください。他には、「ひろう」という体験を通じて「すてない」気持ちを育てたいという願いを込めて「ひろえば街が好きになる運動」という清掃活動を行っております。

**これからの展望**　JTの地域社会への貢献活動である「Rethink PROJECT（リシンク・プロジェクト）」を推進していきます。これは、当たり前をもっと深く考え、「Rethink＝視点を変えて、物事を考える」をキーワードに、これまでにない視点や考え方を活かして、パートナーのみなさま（地域社会のさまざまな団体）と「新しい明日」をともに創りあげていくために、社会課題と向き合うプロジェクトです。今後も地域の社会課題と向き合い、持続可能な地域社会の発展のため美化活動や復興支援などさまざまな活動に取り組みます。

# 株式会社 リオン・ドールコーポレーション

会津若松市栄町２−14 リオン・ドールガーデン６階 ｜ TEL 0242-26-2111 ｜ https://www.liondor.jp

## 子どもたちの健やかな成長

**これまでの活動**　リオン・ドール社会貢献室では、子どもたちの健やかな成長を目的とする活動を「自遊ひろば」として展開。子どもたちが自然の中で考え、感じ、慈しむ心を育み自ら行動し、学び、創造するなど、生きる力や感謝の心を育む大切な時間を楽しみながら経験できるように活動しています。2021年度の活動では四季折々の猪苗代湖を一望できる天鏡台を目指して秋の紅葉を楽しみながらハイキング、その後は薪割りやかまどの火起こしの体験、風で擦れる葉音、草の温もり、森の匂い、鳥の声、虫の音など、五感を活かして自然を堪能できました。「自遊ひろば」過去の活動 2016年８月：夏野菜の収穫ごはん‥22名。2016年11月：晩秋のブナの森‥14名。2017年３月：雪の森を抜ける雪上探検‥７名。2018年11月：裏磐梯を楽しむ五色沼散策‥14名。2019年８月：自遊ひろば in 裏磐梯‥親子17名。2021年10月：秋の猪苗代よくばりデイキャンプ in 自遊ひろば‥親子22名

自遊ひろば

薪割りやかまどの火起こしの体験

**これからの展望**　リオン・ドールでは、さまざまな体験活動を通して、子どもたちの健やかな成長や子どもたちの未来のため、地域の皆様とともに、食育（お弁当の日、キッズ料理教室、5ADAY食育ツアー）、学校支援（掃除に学ぶ会、子どもの唄声を届けるプロジェクト）、スポーツ、芸術（鶴ヶ城ハーフマラソン大会、サッカー教室、野球教室、トライアスロン、文化・芸術のワークショップ）、リサイクル（環境フェスティバル）を応援し、活動を通して、人と人とのかかわりを大切にし、思いやる心や子どもたちの感性を育んでいけるよう継続して取り組んでいます。

## 東北コピー販売株式会社

福島市御山一本松13-５ | TEL 024-559-0245 | https://www.t-copy.co.jp

### エコシステムの構築とテレワークの推進

**これまでの活動**　当社はミレニアム開発目標（MDGs）の目標６などの取り組みをしておりました。

その後、SDGsへ移行後も、まずは地域の方への認知度向上のため、自社のWebサイトなどにSDGsロゴの掲載、各企業へセミナーの開催をしてきました。

それから、当社の事業内容にあわせ社会インフラのエコシステムの構築のためパブリッククラウドの推進、各企業へテレワーク・モバイルワークの推進を進めております。

**これからの展望**　2030年まで残り10年を切りました。数多くのパートナーとともに社会・地域インフラを有効活用できるエコシステムの構築に、当社一丸となり全力で取り組み目標達成に寄与できるよう邁進します。

SDGs構想

社内を挙げてSDGsに取り組む東北コピー販売

## 株式会社協和衛研興業

福島市南矢野目字道下35番地の５ | TEL 024-558-5700 | http://www.k-ek.com

### 快適な暮らしをサポートする「水と空気のプロ集団」

**これまでの活動**　「水と空気のプロ集団」を目指す株式会社協和衛研興業は、オール電化の推進による地球温暖化防止や水廻りのリフォームを通じ、誰もが安心して使うことのできる「水資源」を守る活動をしています。また営業車に電気自動車を導入し、排気ガスによる大気汚染を減らすことで、もう一つの柱である「空気」を守ることでクリーンな街づくりに取り組んでいます。

**これからの展望**　現代社会では環境問題だけでなく新型コロナウイルスなど解決すべき問題が山積みです。新しい環境を見つめ、お客様の豊かで安心できる新時代に向け挑戦をし続け、持続可能な社会の実現に向け、住環境のあらゆる悩みを任せられる「かかりつけ医」のようなプロ集団を目指していきます。

誰もが安心して使うことのできる「水資源」を守る

営業車に電気自動車導入

## 藤田建設工業株式会社

東白川郡棚倉町大字棚倉字南町20番地 | TEL 0247-33-2281 | https://fujitakk.com

### 持続可能な地域循環型社会形成を目指して

**これまでの活動**　地域に根差して70年、私達は地域の道路や河川、駅舎の清掃活動や太陽光発電、木質バイオマス発電による再生可能エネルギー事業、リサイクル、リユース、リデュースの3R活動、地元木材による住宅等の建設事業、情報化施工や最先端技術を導入しての長寿命高耐久設備への取り組み、募金協力やスポーツ少年少女への支援、献血協力、農業分野への進出、このほか多くの地域貢献、社会貢献活動を続けてきました。

**これからの展望**　藤田建設工業株式会社には、建設資材販売、自動車販売・修理、不動産賃貸、書籍販売、宿泊業、建設測量・コンサルタント業、農産業、再生可能エネルギー事業、等を運営する多様な関連グループ企業があり、企業間連携によって他社にはない取り組みを実践しています。

植樹祭

地域貢献、社会貢献活動を続ける藤田建設工業

## 株式会社 こんの

福島市陣場町２-20 | TEL 024-524-2345 | https://www.konno.gr.jp

### 「つくる責任 つかう責任」をしっかりと認識し「質の高い教育を（社員）みんなに」提供し続ける企業です

**これまでの活動**　2015年国連サミットによるSDGs採択の64年前、1951年に福島市で創業しました。以来71年古紙リサイクルに取り組んでいます。近年は再資源化する古紙が年間17万㌧を超え、東北を代表する環境ビジネスカンパニーとして評価をいただいています。これからも経営理念である「お客様、社員の物心両面の豊かさを追求しつつ、地球環境を最優先に考え行動する」ことで、持続可能な循環型社会に貢献して参ります。

**これからの展望**　社是「地球にやさしいココロジー～エゴからエコへ～」を支える環境系の目標に加え「働きがいのある人間らしい仕事」がもたらす社員の成長へ更に注力し、「働きがいも 経済成長も」両立する幸せ創造企業を目指します。

再資源化した古紙

社員研修

## 株式会社櫻エンジニアリング

郡山市島一丁目22番30号 | TEL 024-953-6830 | https://www.sakura-gr.co.jp

**インフラ長寿命化及び災害に耐え得るインフラ整備、そして災害への迅速な復旧対応を通して住み続けられるまちづくりを使命とします。またさまざまな不平等を無くし誰も取り残さない会社と社会を作ります。**

**これまでの活動**

災害に耐え得る安全なインフラ設計を行い、更にインフラ老朽化問題に取り組み予防保全の観点から長寿命化の提案を行っています。またグリーンインフラに積極的に取り組んでいます。性別による格差や不平等の撤廃の為に女性の管理職等への登用、女性の全職域就業支援、また全社員対象の賃金向上を常に目指し、手厚い資格取得支援、テレワーク完備や社内育児スペース設備の充実等、フェアで多様性に対応した持続可能な会社づくりを実施しています。

**これからの展望**

多様化する生き方に柔軟に対応し社員の幸福度を高め、社員とその家族ひいては地域に幸せをもたらす企業でありたいと考えています。インフラ長寿命化に努め、近年激甚化する災害に対しては防災・減災・強靭化に尽力してまいりたいと考えています。

2021年11月に完成した新社屋

持続可能な会社づくりを実践する櫻エンジニアリング

## 株式会社日和田ショッピングモール

郡山市日和田町字小原１ ショッピングモールフェスタ | TEL 024-968-0301 | https://smfesta.com

**商業施設だけでなく他の団体様の取り組みを紹介することでお客さまにSDGsを身近に感じていただくことを心掛けました**

**これまでの活動**

2021年は地域の方々へSDGsを知り、理解を深めていただくことを目的として活動いたしました。

具体的には節電をPRするライトダウン活動やリサイクルを意識して頂くための衣料品回収キャンペーン、フェスタSDGsWEEKなど多様なテーマに対する取り組みを実施いたしました。

また商業施設だけの取り組みではなく地域団体様や企業、行政にご協力いただきました。

**これからの展望**

中通り最大級の商業施設として、また郡山市の方々に25年ご愛顧いただいた商業施設として、さまざまな企業・団体との連携のもと、地域に残っている文化の紹介や推進を通じて持続可能な地域社会の形成に寄与し、SDGsの達成に繋がる計画を積極的に実施してまいります。

2021年４月
ライトダウンキャンペーン

フードロスクイズ

## 自然素材の家 株式会社 志木

大沼郡会津美里町冨川字向川原中ノ切乙1446-１ | TEL 0242-54-3321 | http://www.shizensozainoie.com

**自然素材を通じて地球環境を学び共に成長するSDGs**

**これまでの活動**

弊社は自然素材を使った家づくりをしている会津の工務店です。自然の素材を上手に取り扱うには自然について良く知る事が大事です。子供達にも自然環境の重要性に気付いてほしいという事で2009年より木育と食育にも力を入れています。以前は費用をかけて産業廃棄物として処理していた木材端材を地元小学校や子ども園、そして地域の住民らに無償提供。工場で木を削る際に出るカンナくずも地元農家へ堆肥資材として提供し、循環型農業を実現しています。

**これからの展望**

地球環境問題はこれからの時代を担う子供達が向き合っていかなければならない課題になってしまっていると感じています。土に還らないビニール等の二次加工建材は埋めても燃やしても地球に負担をかけてしまいます。私達は二次加工品を極力使用しない家づくりをすると共に木育を通じて自然環境の大切さを伝えて行きたいと思っております。

自然素材を使った家づくりをしている志木

SDGs取り組み

## 株式会社ソーラーポスト

福島市岡部字大蔵52-３ | TEL 024-535-5741 | https://solar-post.jp

**ソーラーポストは脱炭素社会の実現のため、持続可能なエネルギーの普及を通じてSDGsを支援しています**

**これまでの活動**

ソーラーポストは太陽光発電の自社施工専門店としてこれまで2000棟以上の設置実績を残してきました。

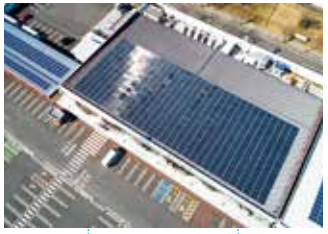
産業用・家庭用太陽光発電は持続可能エネルギーを創出します。また、近年では蓄電池を導入することで、自家消費の割合を高め、$CO_2$の削減に貢献しています。

電気代高騰が叫ばれる中、太陽光発電は安価で導入しやすく、国内の主電源たりえるエネルギーとして今後とも普及拡大することが弊社の使命です。

**これからの展望**

これからも持続可能なエネルギーの普及を通して、県民の皆様の光熱費や$CO_2$の削減、脱炭素社会・SDGsの達成に向けた貢献をし、クリーンエネルギー社会の実現を目指してまいります。

太陽光発電の2000棟以上の設置実績



クリーンエネルギー
社会の実現を目指す

## 日東産業株式会社

福島市泉字道下15 | TEL 024-557-5375 | https://www.nitto-sangyo.co.jp

### 資源消費や廃棄物の発生を抑制し、環境や社会に配慮した廃棄物処理

**これまでの活動**

2021年度より環境に配慮し、営業車３台に電気自動車を導入致しました。バッテリー充電にはソーラー発電を採用し、発電の際に生じる化石燃料の消費を抑え、本当の意味でのゼロエミッション(排出ガスゼロ)を目指します。

2022年１月には福島市内の中学校で行われた職業人に学ぶ会にて「社会を支える仕事」の講師として弊社社員が登壇し、リサイクルやゴミの分別の仕方、食品ロス、浄化槽の仕組みについて、お話をさせて頂きました。

**これからの展望**

廃棄物の処分依頼を受けたものは全て処分を行うことが大前提でありますが、お客様同意の上、見積もり段階で使用可能な物の情報を団体・施設へ提供し、寄付品として回収してもらい、出来るだけ廃棄物を減らすことができないか検討を進めております。

福島市内の中学校で行われた職業人に学ぶ会で登壇する社員

営業車に電気自動車導入

## 株式会社AC福島ユナイテッド

福島市飯坂町字筑前７－１ | TEL 024-573-8203 | https://fufc.jp

### 福島ユナイテッドFCは、Jリーグクラブの発信力を活かし、地元の活性化、地域創生に取り組んでおります

**これまでの活動**

Jリーグクラブの発信力を活かし、地域課題の解決や、地域活性化に繋がる活動を継続的に行っています。ホームゲーム開催時にサッカー教室やスタジアム周辺のゴミ拾い活動を実施。また、地域のみなさまとともに体を楽しく動かす機会をつくり、健康面の向上を目指した環境づくりに取り組んでいます。

さらに、県内農家と協力して選手、スタッフで福島の農作物を生育し、福島県産品の魅力を全国に向けて発信、販売する事業も行っています。

**これからの展望**

福島ユナイテッドFCは従来の事業の継続に力を尽くしながら、本業のサッカーやJリーグからも高評価を受ける農業部を通じて地元を活性化し、地域創造に取り組んでまいります。

ホームゲームではスタジアム周辺のゴミ拾い活動

2021年11月24日 りんご収穫

## 福島スポーツエンタテインメント株式会社

郡山市堂前町１－２ 石井ビル１F | TEL 024-927-0777 | https://firebonds.jp

我々は福島の皆さんと絆（きずな）を深め、誇（ほこ）れる福島を共につくりあげていくという精神として「BONDS UP」というクラブアイデンティティーを掲げています。SDGsアクションとして取り組んでいる「BONDsPASS」を通じて、地域に根差すプロスポーツクラブである以上、地域貢献（こうけん）を果たしていくべく今後も活動を続けてまいります。スポーツを通じてSDGsをより身近に感じていただき、福島県内において活動の広がりをつくっていきたいと思います。

**これまでの活動**

日本財団「CHANGE FOR THE BLUE」参加のふくしま海ごみ削減プロジェクト 春の海ごみゼロウィーク「県内一斉清掃活動」に福島ファイヤーボンズ所属の山内翼選手が参加しました。

また、県内の試合会場にてペットボトルキャップ回収プロジェクトや地域の活性化を目的とした魅力発信ボードの制作などを行っています。他にも、地域の学校や企業との取り組みも複数展開中です。

**これからの展望**

次世代の子どもたちに明るい未来を引き継いでいくため、今できる「ひとつひとつ」をしっかりと積み重ねていくことが必要だと感じています。

バスケットでもひとつのプレーの積み重ねが結果として大きなスコアとなります。

我々自身がまずは「ひとつひとつ」にこだわり、積極的にアクションして参ります。

県内一斉清掃活動に参加した山内翼選手

## 福島レッドホープス

福島野球団事務所：郡山市八山田３-22 | TEL 024-923-1789 | https://red-hopes.com

### 子どもたちの夢を育む 選手・スタッフだけではなく球場に足を運ぶファンも含めた取り組みにしていくこと

**これまでの活動**

「AKI PROJECT」福島レッドホープスカップでは球場で試合前にソフトボールの試合を行い、スタジアムDJのアナウンスなど通常では体験のできない経験をしてもらったり、野球教室を通じて子どもたちが夢を持つきっかけ作りを行っています。球場ではBCリーグでも模範となるような細かいごみの分別を行うことで資源のリサイクルに積極的に取り組んでいます。マイボトルの利用を促すような取り組みも行っています。

**これからの展望**

選手が練習中や試合時に使う箸やスプーンをマイ箸マイスプーンにする取り組みを行っていきます。また、ペットボトルのゴミを減らすためにオリジナルの容器に入ったドリンクを企業と開発し球場での販売を目指します。

野球教室で子どもたちに夢を持つきっかけ作りに

## 株式会社報徳観光バス

郡山市南２丁目50 ｜ TEL 024-983-8222 ｜ http://hotoku-koriyama.com

### 地域の安心安全を通して持続可能な社会へ

**これまでの活動**

報徳観光バスでは2021年９月から環境配慮の側面から新車両を整備したり、働きがいを高めるための社員教育、車いすの方向けの設備の搭載など、業務を通してSDGsの目標を達成できるよう社員一丸となって取り組んでいます。中でも力を入れているのは郡山市内各所の道路で行う清掃活動で、社員を班に分け、朝夕の30分で定期的に行っています。この活動は環境の美化に繋がるだけでなく路上の安全を守り、地域の事故防止に繋がります。

**これからの展望**

今後は社員間で意見を募りながら活動内容を更新しつつ、県内の学校や団体と連携した活動に取り組む予定です。いつもお世話になっている地域の皆様のために、持続可能な社会を目指して社員一同継続して取り組みます。

郡山市内各所の道路で行う清掃活動

社員を班に分け朝夕30分で行う

## みちのく陸運株式会社

福島市飯坂町平野字若狭小屋14-６ ｜ TEL 024-557-5145 ｜ http://www.michinoku-exp.com

### 安全で環境にやさしい運行の輪を目指して

**これまでの活動**

最新の排ガス処理装置が搭載された車両の積極的な導入と、ドライバーへのエコドライブの管理を徹底し、窒素酸化物（NOX）の排出削減を意識した取り組みを行っています。弊社ではSDGsの取り組みを行う以前から「Gマーク認定」「グリーン経営認証」を取得しており、環境への配慮と安全の意識はすでに従業員の意識に根づいていたため、社内のデジタル化、ペーパーレス化においてもスムーズに展開でき、ITリテラシーの向上と「働き方改革」の促進にもつながりました。

**これからの展望**

カーボンニュートラルに向けてEVやFCVのトラックの導入を検討。また、物流業界におけるDXを推進し、効率的な輸送による排出ガスのさらなる削減と、強靭で持続可能な物流ネットワークの構築を目指し、地域や協力企業と共にSDGsの輪をつなげたい。

最新の排ガス処理装置が搭載された車両の導入



## 紙面連載「SDGs 福島から未来へ」

SDGsは国連で採択された「未来のかたち」です。

経済、社会、環境にまたがる17の目標の達成を全世界で目指していきます。どのような活動が目標達成につながるのか。

県内の企業、団体などの取り組みを参考に、自分たちには何ができるかを考えていきましょう。

（2021年７月18日～2022年２月20日の掲載分）

**17の目標**

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう

福島から未来へ SDGs

ヨークベニマル

CO2の50%削減目指す

主な取り組み

■少子高齢化に対応する社会基盤作り
・郡山市の大型屋内遊び場「ベップキッズこおりやま」の運営支援
・小学校などで出前食育教室の実施
・子ども食堂への寄付
・車両が無い地域住民への「電話で宅配サービス」
・認知症の方とその家族を支援する「認知症サポーター」の養成

■食品や店舗を通じた安全・安心の提供
・食品安全マネジメントシステムの国際規格「ISO22000」の取得
・商品の栄養成分・食物アレルギー情報の表示
・出店地域の行政と、災害時の物資提供に関する支援協力の協定締結

■資源、エネルギーの無駄のない利用
・太陽光発電の導入
・食品トレーやペットボトルなどの資源物回収
・レジ袋の有料化
・食品廃棄物の発生抑制とリサイクル

■女性、若者、高齢者の活動支援
・女性管理者の登用の推進
・企業主導型保育園との契約
・外国人、障がい者雇用の促進

■エシカル（倫理的）な社会づくりと持続可能な調達
・未来資源や海洋環境に配慮した未来エコラベルの付いた商品の販売
・地域野菜の販売促進
・森林保全に配慮した国際認証「FSC」商品の取り扱い

2021年７月18日付

2021年
8月1日付

福島から未来へ SDGs

# 学校活動に一本の筋

## 会津若松ザベリオ学園

運動部が活躍

◀人体の仕組みを学ぶ生徒

関係者の声

主な取り組み

■地域貢献を目的とした探求学習
- ザベリオビジネスコンテストの開催
- 商店街での美談掲示の作成
- 地域の若手実業家を招いての講演会

■生命や人体についての理解の深化
- 福島医大学生サークル「POMx」との連携によるイベント開催
- 人体についての探究活動と成果の発表

■科学的思考力の養成
- エッグドロップコンテストの開催
- プログラミング学習
- ホームページの作成練習

■校外学習におけるSDGsの課題把握、目的達成を意図した活動
- 医療機での外来種ウチダザリガニの駆除活動
- 研修旅行（修学旅行）における企業訪問、農業体験などの実施
- 体験学習（福祉）での介護現場の学習、海の生態観察など

■SDGsを目的とした活動成果の外部への発信
- 会津文化祭でSDGsに沿った展示物を作成、公開
- ふくしま百年基金シンポジウムへの代表生徒の参加
- 商店街祭り店舗での探究活動成果の公表

2021年
9月5日付

福島から未来へ SDGs

# 規格外のイチゴに着目

## 処 菓子よしだや

規格外のイチゴを使ったジャム

主な取り組み

■無駄のない利活用
- 捨てられることの多い規格外の果物を使った加工品の開発
- 太陽光発電の導入

■働きがいの創出と経済成長、技術革新への貢献
- 女性の活躍推進
- 外国籍従業員の雇入

■異業界企業や自治体との連携
- 人材育成を目的とした親子お菓子教室の開催
- 青年会議所（JC）や法人会との連携によるSDGs取り組み強化と自社の成長

2021年
8月15日付

福島から未来へ SDGs

# 食のミスマッチ解消

## いつだれkitchen

テークアウト用の料理をつくるスタッフら（2021年7月撮影）

主な取り組み

■「もったいない」の精神で食のミスマッチ解消
- 余ったり、廃棄されたりする食材の寄付を募る
- 寄付された食材を調理して配る振る舞う
- 野菜や魚中心の料理で健康に

■地域の居場所づくり
- いつでも、誰でも、世代や障害の有無にかかわらず受け入れる
- 料金は「投げ銭制」なので、経済的に困っていても気兼ねなく食事ができる
- ボランティアスタッフには毎年関係者が多く、悩み事の相談にも気軽に応じる

2021年
9月19日付

福島から未来へ SDGs

# ファイル回収 教育支援

## アポログループ

回収箱とシールを貼ったファイルを組み立てる社員

主な取り組み

■持続可能なエネルギーの供給
- LPガス、電力などエネルギーの安定供給
- 再生可能エネルギーの普及と発展、水素ステーション事業など社会インフラ構築への貢献

■働きがいのある人間らしい仕事への取り組み
- 働き方の多様化
- 質の高い人材の育成

■持続可能な住まいと暮らしへの取り組み
- 地域の人々への安心・安全な暮らしを継続的に提供
- 非常時の対応に積極的に取り組む

2021年
11月7日付

SDGs 福島から未来へ

ノーリン

# 森林資源無駄なく循環

主な取り組み

■森林資源の無駄のない利活用
・未利用木材などでバイオマス発電
・新たな産業や雇用の創出

■災害に強いまちづくり
・植林による森林の保水力向上と温室効果ガス削減
・「分散型電源」としての発電所

ノーリンを訪れ、SDGsの重要性を学ぶ小学生

2021年
12月5日付

SDGs 福島から未来へ

大七酒造

# 段ボール製緩衝材開発

来年で創業270年

主な取り組み

■リサイクル可能な素材の使用
・段ボール緩衝材の導入
・リサイクル可能なガラス瓶の使用

■伝統と革新の技術
・微生物の多様性を守る「生酛（きもと）造り」
・省資源で環境に優しい「超扁平（へんぺい）精米技術」

■持続可能なエネルギー
・屋上で太陽光発電
・省エネルギーの発光ダイオード（LED）照明を使用

プラスチック削減のために開発した段ボール製緩衝材

2021年
11月21日付

SDGs 福島から未来へ

浪江JC

# 住民や企業の意識向上

浪江や大熊とタイアップ宣言

主な取り組み

■廃材を遊具に
・本来は捨てる廃材を再利用し、子どもの遊具に変えていく

■健康づくりにノウハウ
・スポーツチーム運営のノウハウを生かし、住民の健康づくりに寄与する

■異国のワクチンに貢献
・ペットボトルのキャップを回収し、途上国の子どもたちへのワクチンへ変える取り組み

■ゼロカーボンシティ実現へ活動
・水素自動車や電気自動車の運用への支援によるゼロカーボンシティー実現に向けた取り組み

■フードロス削減
・フードロス削減のために「てまえどり」を推奨する

2021年
12月19日付

SDGs 福島から未来へ

ポリエステル媒地活用推進組合

# 化学繊維培地で花生産

アンスリウム 50種類超出荷

アンスリウム栽培に活用しているポリエステル媒地

主な取り組み

■古着の再利用
・リサイクルにより取り出したポリエステル繊維を活用した培地の製造
・二酸化炭素の削減に貢献

■最先端技術の導入
・ビニールハウス内の温度や湿度、日照などを情報通信技術（ICT）で管理

■安定的な出荷に向けた体制構築
・大田市場（東京都）と連携した販路確保。組合員らが会員制交流サイト（SNS）で受注本数を共有

2022年
1月30日付

2022年
2月20日付

ふくしまSDGsプロジェクトは
下記企業スポンサー様のご支援をいただいて
運営しています

株式会社アサカ理研 ASK
100年前からリサイクル アマルク
すべてを地域のために 東邦銀行
ひとのときを、想う。JT
Lion D'or CREATE THE FUTURE
東北コピー販売
藤田建設工業株式会社

I&I GROUP 福島トヨペット
(株)協和衛研興業
こんの
SAKURA 櫻エンジニアリング
株式会社 志成
ショッピングモール フェスタ
株式会社ソーラーポスト
日東紡ホールディングスグループ
日本大学工学部
Firebonds
福島ユナイテッドFC
Red Hopes FUKUSHIMA
報徳観光バス
みちのく陸運株式会社
rfcラジオ福島
藤羅屋

いわきワシントンホテル　協三工業　佐洋運輸

今後も福島県内の多くの方々にSDGsを知っていただき、活動していただくためにも
皆様のご協賛が必要です。

協賛サポーターの詳細については公式WEBサイトをご覧ください。

ふくしまSDGs
https://sdgs.fukushima.jp

## ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム

■構成団体　日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県ユニセフ協会、福島大学、JAグループ福島、福島民報社（事務局）

■賛同・後援　福島県、福島県教育委員会

■協　　力　会津大学、福島県立医科大学、福島学院大学・福島学院大学短期大学部、桜の聖母短期大学、日本大学工学部、奥羽大学、郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部、東日本国際大学・いわき短期大学、福島県生活協同組合連合会